



リモート接続先

BAT を使用して、リモート接続先の詳細を挿入、削除、エクスポートできます。次のトピックでは、BAT でのリモート接続先の操作について説明します。

- 「リモート接続先の挿入」(P.58-1)
- 「リモート接続先の削除」(P.58-2)
- 「リモート接続先のエクスポート」(P.58-3)

リモート接続先の挿入

BAT を使用してリモート接続先の詳細を挿入する手順は、次のとおりです。

始める前に

- リモート接続先に固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。



(注) タイムゾーンの詳細は、カッコやアスタリスクを使用しないで入力する必要があります。たとえば、タイムゾーンとして Greenwich Mean Time (GMT; グリニッジ標準時) を入力する場合は、「(GMT) Etc/GMT*」ではなく「Etc/GMT」と入力します。

- 「ファイルのアップロード」(P.2-3) の手順に従って、該当ターゲットとトランザクションのための機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先の挿入 (Remote Destination Insert)] の順に選択します。[リモート接続先の挿入 (Insert Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [ファイル名 (File Name)] ドロップダウン リスト ボックスで、アップロードしたファイルを選択します。
- ステップ 3** 既存の設定を上書きするには、[既存の設定の上書き (Override the existing configuration)] チェック ボックスをオンにします。
- ステップ 4** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションに、ジョブの説明を入力します。デフォルトの説明は、「Insert Remote Destination」です。
- ステップ 5** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。

- ステップ 6** [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先を挿入するジョブを作成します。
[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。
- ステップ 7** [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

追加情報

「関連項目」(P.58-4) を参照してください。

リモート接続先の削除

始める前に

- リモート接続先に固有の詳細情報を含むカンマ区切り値 (CSV) 形式のデータ ファイルが必要です。
- 「ファイルのアップロード」(P.2-3) の手順に従って、トランザクションのための該当ターゲットと機能を選択してデータ ファイルをアップロードします。



(注) 削除トランザクション用に `bat.xlt` として作成したトランザクション ファイルを挿入またはエクスポートしないでください。代わりに、削除が必要なリモート接続先レコードの詳細情報が設定されたカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要があります。名前または説明の値を入力します。

手順

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先の削除 (Remote Destination Delete)] の順に選択します。[リモート接続先の削除 (Delete Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除 リモート接続先、検索条件 (Delete Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。
- [名前 (Name)]
 - [接続先 (Destination)]
 - [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
 - [デュアルモードフォン (Dual Mode Phone)]
- ステップ 3** カスタム ファイル ドロップダウン リスト ボックスで、リモート接続先を削除するためにアップロードしたファイルを選択します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] セクションが表示され、選択したリモート接続先が示されます。
- ステップ 6** 対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。
- ステップ 7** [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先を削除するジョブを作成します。
[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。

ステップ 8 [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。



(注) リモート接続を削除すると、リモート接続と関連付けられた時刻アクセス、時間帯およびタイム スケジュール レコードも削除されることに注意してください。

追加情報

「関連項目」(P.58-4) を参照してください。

リモート接続先のエクスポート

BAT を使用してリモート接続先をエクスポートする手順は、次のとおりです。

手順



(注) エクスポートするリモート接続先を選択した後、2 番目の [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウからヘルプにアクセスしている場合は、[ステップ 8](#) に進みます。

ステップ 1 [一括管理 (Bulk Administration)] > [モビリティ (Mobility)] > [リモート接続先 (Remote Destination)] > [リモート接続先のエクスポート (Remote Destination Export)] の順に選択します。[リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 最初の [検索 リモート接続先、検索条件 (Find Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のオプションのいずれかを選択します。

- [名前 (Name)]
- [接続先 (Destination)]
- [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
- [デュアルモードフォン (Dual Mode Phone)]

ステップ 3 2 番目の [検索 リモート接続先、検索条件 (Find Remote Destination where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が空である (is empty)]
- [が空ではない (is not empty)]

ステップ 4 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



ヒント データベースに登録されているすべてのファイルを表示するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 クエリーをさらに定義するには、次のようにします。

- a. ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択し、ステップ 2 ~ 4 を繰り返します。
- b. [+] ボタンをクリックすると複数のフィルタを追加でき、[-] ボタンをクリックするとフィルタを削除できます。
- c. [フィルタのクリア (Clear Filter)] ボタンをクリックすると、すべてのフィルタを一度に削除できます。

ステップ 6 [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたファイルのリストが、次の項目別に表示されます。

- [名前 (Name)]
- [接続先 (Destination)]
- [リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profile)]
- [デュアルモードフォン (Dual Mode Phone)]

ステップ 7 [次へ (Next)] をクリックします。次の [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 8 [リモート接続先のエクスポート (Export Remote Destination)] セクションの [ファイル名 (File Name)] フィールドにファイル名を入力します。

ステップ 9 [ファイル形式 (File Format)] ドロップダウン リスト ボックスで、[リモート接続先の形式 (Remote Destination Format)] を選択します。

ステップ 10 [ジョブ情報 (Job Information)] セクションで、対応するオプション ボタンを選択して、ジョブをすぐに実行するか、後で実行するかを選択できます。

ステップ 11 [送信 (Submit)] をクリックして、リモート接続先をエクスポートするジョブを作成します。

[ステータス (Status)] セクションのメッセージで、ジョブが正常に送信されたことが示されます。

ステップ 12 [一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用して、このジョブのスケジュールやアクティブ化を行います。

追加情報

「[関連項目](#)」(P.58-4) を参照してください。

関連項目

- 「[リモート接続先の挿入](#)」(P.58-1)
- 「[リモート接続先の削除](#)」(P.58-2)
- 「[リモート接続先のエクスポート](#)」(P.58-3)
- 「[リモート接続先プロファイル テンプレート](#)」(P.59-1)
- 『[Cisco Unified Mobility Administration Guide](#)』